

SAYAYA

2024 MAY Vol.12

2024 MAY Vol.12

社会医療法人 清光会 50周年記念

岐卓清光

社会医療法人 清光会 50周年記念



Congratulations! 清光会 開業50周年記念

この記念作品は、イラストレーター「まつやまたかし」氏に制作を依頼したものです。
イラストの中に隠されたいろいろなものを見つけて楽しんでみましょう！

クイズ④

花嫁さんと花婿さんはどこでしょう？



- 巣南リハビリセンター
- 医療型サ高住巣南

淡墨桜

清光山浄明寺

名和内科

先代・名和誠

清光会 50年のあゆみ

- 1974 6月 名和内科開業
- 1988 8月 医療法人 清光会 設立
- 1994 9月 老人保健施設 巣南リハビリセンター開設
介護相談センター-巣南 開設
- 1995 7月 巣南リハビリセンター 南館増設
- 1999 10月 巣南デイサービスセンター 開設
- 2003 10月 名和内科 新築移転
- 2012 12月 医療型サービス付き高齢者向け住宅 巣南 開設
- 2018 4月 岐阜清流病院 開設
- 2021 9月 地域交流施設 清流ぶらす 開設
- 2022 10月 住宅型有料老人ホーム グランフォート清流 開設
- 2023 11月 社会医療法人に認定
- 2024 6月 社会医療法人清光会50周年

樽見鉄道

職員の自転車サークル



クイズ①

犬はなんびきいるでしょう？



織田信長

岐阜城

鶺鴒

岐阜シティ・タワー43

職員のマラソンチーム

イラストレーター
まつやまたかし(左)

クイズ②

UFOはどこにいるでしょう？



岐阜清流病院

クイズ③

清光会マークは
いくつあるでしょう？



クイズの答えはこちら▶



イラストレーター
まつやまたかし

プロフィールはこちら▶



原画は岐阜清流病院1Fに展示
まつやま氏によるレゴブロックの額も人気

清光会50周年を迎えて

浄土真宗 清光山浄明寺の長男として生まれながら医師の道に進んだ先代の理事 長名和誠が「自分を育ててもらった地域への恩返しをしたい」という思いを胸に、1974年6月名和内科を開業したことから清光会は始まりました。2024年6月清光会は50周年を迎えます。地域の皆様に支えられここまで歩んでこられたことに心より感謝申し上げます。

この記念作品は、岐阜県関市在住のイラストレーター「まつやまたかし」氏に制作を依頼したもので、当法人施設と岐阜の名所を織り交ぜながら法人理念である「笑顔あふれる暮らし」をお届けします。写真には無い新しい創造力や表現を皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

社会医療法人清光会は、今後も地域の皆様に貢献できるよう職員一同精進してまいります。

ある看護師の想い出

数十年前、地元の高校を卒業し名和内科の事務員として就職したある時、先代の理事長である名和誠先生と雑談をする機会があり「これからの時代女性も手に職をつけておいた方が良くと思うが、何かお手伝いできることはあるかな？」とお話があった。当時は結婚や出産を機に退職し、家庭に入るのが普通であったので内心驚いた。私自身は身近にいた看護師の仕事を見聞きするなか看護の道について思案していたこともあり、その旨をお伝えすると早速、准看護学校に通う勤務を段取りしていただいた。学校に通いながら名和内科の事務員を2年間過ごし無事、准看護師となった。その後結婚、子育ても終えた頃、看護師への憧れが強くなり再び職場や家族の協力を得て定時制の看護学校に通い晴れて看護師の資格を取得することができた。このように私の充実した人生への機会を与えていただいた清光会に感謝するとともに今後も初心を忘れず日々成長し続けていきたい。

TEAM SEIKOUKAI

清光会グループで活躍中の

スタッフを紹介します！

2024年4月入職
新任ドクター



「食べる・話す・笑う」喜びを、すべての患者さんへ

患者さんに寄り添い、一人ひとりにあった最善の医療を提供し、健康を口から守る手助けができるよう、誠意を持って診療に当たらせていただきます。

高齢化の進展とともに認知症患者数も年々増加している日本。巣南リハビリセンターは認知症で介護が必要となった方でも安心してご利用いただける施設を目指しています。今回は去年よりプロジェクトを始動した認知症ケア強化チームのお2人に話を聞きました。

●お口は健康の入り口

人生において、食事を味わって美味しく食べ、家族や友人と笑い語らうことは、大きな楽しみです。食べる事(咀嚼・嚥下・味覚)や話すこと(構音)、表情を作ること、それらはすべて口腔機能が関わっています。また近年、口腔機能の低下が、動脈硬化や糖尿病など様々な病気に影響を及ぼすことが報告されています。このように、口腔機能は非常に多様かつ重要であるため「お口は健康の入り口」とも言われています。

歯科口腔外科は、口腔機能に関連する様々な疾患を対象に、診断・治療を行う診療科です。この度、地域のみなさんの健康を口腔から支え、すべての患者さんが笑顔になれるよう、歯科口腔外科を新しく開設いたしました。

●歯科口腔外科の対象疾患

親知らずの抜歯、歯の脱臼や顎の骨折に代表される顎顔面外傷、口腔内のできもの、歯科インプラント治療などが挙げられます。必要に応じて、全身麻酔や静脈内鎮

静法を用いての処置も可能です。また透析や心臓病などの持病をお持ちの方の歯科治療についても力を入れております。どんな些細なことでも、お気軽にご相談ください。

●すべての患者さんに最善の歯科医療を

私は卒後より、岐阜大学病院をはじめとする総合病院の歯科口腔外科で経験を積みました。その中で感じたのは、患者さんの中には、納得する治療が受けられない(そもそも提案されない)という方が一定数みえるという事実です。持病のために、歯科治療が困難と診断され紹介された例や、逆に患者さん自身が、かかりつけ歯科では敬遠されるのではないかと不安になり総合病院を受診する例を多く見てきました。既往歴の有無や全身状態に関わらず、すべての患者さんが平等に治療を受ける権利があると思います。そして、患者さん一人ひとりが求める治療のゴールも当然異なります。岐阜清流病院を訪れたすべての患者さんが、平等に納得できる治療が受けられるよう、最善を尽くしてまいります。

介護福祉士 脇田将司

施設で生活されている認知症状がある利用者さんは、自分が認知症だと理解できていない方が多く、日々不安な気持ちを強く持ちながら生活されています。利用者さんが1日の中で接する機会が多いのは介護職員です。そのため、介護職員が認知症について理解を深めることはとても重要なことだと考えています。「認知症だから言っても無理」ではなく「どう接したら安心されるだろうか」と意識転換を行うことが必要となります。今後、認知症ケア強化チームでは介護職員を対象にした勉強会を定期的実施し、認知症に対する理解度の底上げを図りたいと考えています。巣南リハビリセンターが「認知症の方でもその方らしく安心して生活できる施設」と周知されるようにチーム活動を進めていきたいです。

理学療法士／認知症リハビリテーション専門士 山本佳典

介護が必要になった主な原因の1つに認知症が挙げられており、様々な場面で認知症の方やそのご家族に関わる機会がありました。当施設でも利用者さんの大半が何かしらの認知症状を抱えており、そのことが原因で自宅での生活が困難なケースも多く見受けられます。私自身、「認知症は治らない」「認知症になったら施設に入所するしかない」というイメージを持っていました。しかし、認知症について学んでいく中で認知症ケアによりその症状が改善し、心穏やかに生活されている方も見てきました。その一方で、どんなにきめ細かい認知症ケアを行っても症状が改善するどころか悪化していく方も見てきました。更に学んでいく中で、認知症を改善させる方法の1つに認知症リハビリテーションというものがあることを知りました。認知症状の原因・起因を見つけ出すための評価を行い、評価結果から改善プログラムを立案し、それに基づきリハビリを進めていくというものでした。認知症といっても一人ひとり原因や症状は異なり、それを理解した上でケアやアプローチできるかどうか、症状が改善する・しないに差が生まれるポイントだと気づくことが出来ました。今後も認知症課題に取り組み、専門的に学んだことをチームに活かしていきたいです。



認知症カフェ レポート

清光会では認知症の方やそのご家族、また加齢に伴い認知症に関心を持つ皆さんを対象に瑞穂市認知症カフェ事業「みんなずっとほっとカフェ」を毎月2会場で開催しています。

みんなずっとほっとカフェ in 浄明寺

2月に浄明寺で開催された認知症カフェではひな祭りの時期が近いこともあり、レクリエーションでひな人形作りを行いました。ボランティアさんに教わりながら皆さんそれぞれ個性的でカラフルなお雛様とお殿様を作り上げてくれました。

浄明寺ではお寺特有の落ち着いた雰囲気の中、様々なレクリエーションや合唱、脳トレーニングなどのプログラムを各々のペースで楽しんでいただいています。誰でも参加でき、多世代が交流できる場所となっていますので、興味がある方のご参加お待ちしております。



会場1 浄明寺

瑞穂市重里609
☎058-328-3387

毎月第2水曜日 9:30~11:00
巣南リハビリセンター(担当:佐々)

みんなずっとほっとカフェ in 清流ぷらす

昨年度より清流ぷらすでも認知症カフェの運営を開始しました。本来、認知症カフェとは「認知症になられたご本人や、そのご家族が安心して集える場所」とされています。しかし、当カフェは「物忘れって誰でもあるよね!認知症があってもなくても同じでしょ?」という想いから、地域に暮らす方々が誰でも気軽に集える場所として運営しています。当施設では日頃、様々な運動やイベントを行っています。毎月1回のカフェの日にはあえて何も行わず、利用される方々がゆったりと過ごし、交流していただける時間を大切にしています。

現在、瑞穂市内から、認知症の方も含めて毎月15名程度の方々が参加されています。有名店に負けない美味しいコーヒーと落ち着く空間を用意して、お待ちしております。



会場2 清流ぷらす

瑞穂市別府1227-1
☎058-216-6360

毎月第3木曜日 9:30~11:00
地域交流施設 清流ぷらす(担当:坪内)

名和内科 岐阜県瑞穂市重里2005 TEL:058-328-3311
 巣南リハビリセンター 岐阜県瑞穂市重里1996 TEL:058-328-3387
 グランフォート清流 岐阜県瑞穂市本田908-1 TEL:058-329-5001
 清流ぷらす 岐阜県瑞穂市別府1227-1 TEL:058-216-6360



2024年1月 特定技能外国人スタッフ活躍中!

1/15、ネパールから特定技能外国人3名が看護補助者として勤務を開始しました。看護補助者の慢性的な不足を補い、持続可能なサービスをお届けするために昨年受け入れたインドネシア3名に引き続き、今年も積極的に取り組んでまいります。

彼女たちは厚労省が定める日本語能力試験や特定技能介護試験の基準をクリアした即戦力となり得る人材です。今後も海外の文化に触れ、多様性を認め合い、業務向上に努めてまいります。



2024年4月 未来を担う、新入職員!

2024年4月1日付で岐阜清流病院に新たに職員41名が加わりました(医師1名、歯科医師1名、歯科衛生士2名、臨床工学技士1名、リハビリ職員7名、管理栄養士1名、看護師24名、事務4名)。新しい希望と意気込みを胸にスタートした新入職員と共に「笑顔あふれる暮らし」をお届けできるよう職員一丸となって邁進してまいります。



漢方コラム

第7回 立ち眩み

記事執筆 日本東洋医学会 漢方専門医・指導医 越路正敏先生

気温が高くなって、汗をかく季節になると、立ち眩みが起きやすくなります。体内の熱を逃がそうと、血管が拡張し、放熱をするからです。血圧も低くなりがちですが、それ以上に困るのは、自律神経による臨機応変な働きが障害されていて、頭に血液が回らないことによるふわとした症状です。年齢とともにこの症状は起きやすくなりますが、若年でも起きやすいヒトが少なからずあります。

立ち眩みを含め、めまいは、漢方の世界では、水毒(水の偏在や量の過不足)と捉えることが多く、処方として、五苓散や半夏白朮天麻湯といった利尿剤と呼ばれる範疇の薬を病態に合わせて処方します。

なかでも代表的なめまいの漢方薬は、苓桂朮甘湯というもので、茯苓、桂皮、朮、甘草という4つの生薬から構成されています。茯苓、朮は、利尿作用があり、水のコントロールを司ります。利尿作用とは、水分が過剰な時には、利尿して減少させ、一方、不足の時には、血管内の水分を保持するという正反対

の働きをするもので、西洋薬にはみられない面白い有用な作用です。桂皮と甘草の組み合わせは、交感神経の過緊張を抑える働きがあり、めまいが起こって、うわっ、大変だ!と身体が危機的な状況になると、交感神経が緊張し、血圧上昇、心拍ドキドキとなるわけですが、これを、まあまあ、となだめる働きをして、落ち着かせてくれます。

めまいの代表的疾患であるメニエル症候群も耳のリンパ浮腫によるとされており、身体、特に頭部の水の捌き(過不足)が悪いと起こりやすくなるようです。ですから、メニエル症候群のように局所的に水分が過剰な状態の時も、立ち眩みのような不足の時も、使用できる便利な漢方薬です。



【漢方外来/越路医師】第1~4金曜日 14:00~16:00 ※完全予約制

岐阜清流病院 岐阜県岐阜市川部3丁目25番地 TEL:058-239-8111(代)